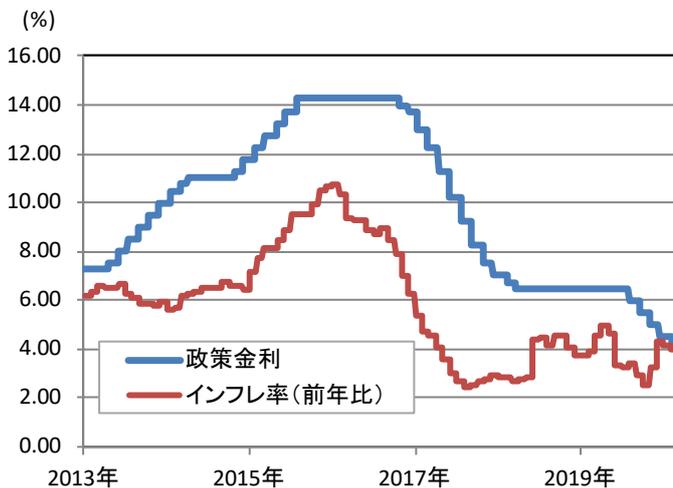


ブラジルの政策金利の引き下げについて

2020年3月18日（現地時間）、ブラジル中央銀行は、COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を0.50%引き下げ、年率3.75%とすることを決定しました。

新型コロナウイルスの感染拡大で主要中央銀行が景気刺激策を打ち出し、ブラジル中央銀行も市場の予想通り6会合連続で利下げし、過去最低の3.75%とすることを決定しました。声明では「政策金利をこの水準に維持することが適切であると考え」とし、次のステップを決める上で「今後の経済統計が不可欠だとCOPOMでは認識している」と説明しました。世界経済見通しについては、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的な流行）は世界経済の成長率を鈍化させ、コモディティ価格を低下させ、かつボラティリティ（株価の変動幅）を高めている。追加的な金融刺激策にかかわらず、新興国経済は厳しい状況にあるとしました。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移
 (2013年1月1日~2020年3月18日)



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2019年9月18日	5.50	-0.50
2019年10月30日	5.00	-0.50
2019年12月11日	4.50	-0.50
2020年2月5日	4.25	-0.25
2020年3月18日	3.75	-0.50

* 政策金利: Selic を使用。

* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータよりBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。